

新型コロナウイルス感染症対策について、国は広島県を含む緊急事態宣言を6月20日まで延長し、県の集中対策も延長されたところです。

三次市における人口当たりの感染者数は、市民や事業者の皆様のご協力により、4月以降、県内でも極めて低く抑えられている状況ですが、このまま感染をしっかりと抑え込むため、今一度感染防止対策へのご協力をお願いいたします。

本市においては、引き続き、PCR検査やワクチン接種の推進に努めてまいります。

また、本日、コロナ禍を想定した、三次市洪水想定訓練を実施しました。本市では昭和47年の大水害で、河川の氾濫によって、市内が浸水し、大きな被害が生まれました。

近年は、毎年のように全国各地で大雨による大災害が発生しています。

本市でも、いつまたこうした災害が発生するかわかりません。これから本格的な梅雨となりますので、市民の皆様には、日頃から、ご自宅の安全性や避難方法などを確認していただくとともに、災害時に早めに避難するということをお願いいたします。

引き続き、関係機関と連携を図りながら、災害に強いまちづくりに取り組んでまいります。

がんばろう 三次

令和3年6月1日

三次市長 福岡 誠志